

四日市版コミュニティスクール報告書（令和4年度総括）

四日市市立山手中学校

校長 山下 英樹

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

保護者及び地域住民等が一定の責任を持って学校運営へ参画し、学校教育活動の充実に向け、学校、保護者及び地域住民等が協働し、「学校づくりビジョン」の実現を図ります。

そのために、本校の運営協議会は、「生徒の実態を把握し協議する」、「学校教育活動を地域に広める」「生徒と家庭との関わりを深める」「生徒と地域の関わりを深める」の4つの視点で活動を行います。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 生徒の実態を把握し協議する

本校の運営協議会は今年度も4回の会議を計画致しました。各委員には会議開催時に授業や学校行事を参観していただき、生徒の実態を把握していただく予定でしたが、今年度もコロナウイルス感染症の影響を受けて、様々な行事が制限を受けました。しかしながら開催方法や内容に工夫をして開催することができた行事も多く、大変喜ばしいことでした。

運営協議会では、本校の生活アンケート等の結果や地域からの情報等から、学校の教育活動・経営等の状況について客観的な評価をいただくとともに、学校に対し様々な角度から助言等をいただきました。



【授業参観 (R4)】



【体育祭 (R4)】



【文化祭 (R4)】

(2) 学校教育活動を地域に広める活動

運営協議会の委員さんには、学校教育活動に参加したり見学したりすることを通して、生徒や教職員の様子を知り、その情報を地域の各種団体や地域の方々に発信していただいています。併せて、地域における日常の生徒の様子や地域の行事、取組に参加する生徒の様子を把握し、その情報を学校と共有していただいています。今年度も多くの行事が制限を受けたため、生徒の様子を把握しにくかったと思いますが、心強い「学校の応援団」としての役割を果たしていただき、「地域とともにある学校づくり」を進めていただきました。



【池そうじ (R4)】



【海蔵地区文化祭 (R4)】



【ジャズフェスティバル (R4)】

(3) 生徒と家庭との関わりを深めるための活動

本校は生徒と保護者の関わりを深めるPTA活動が活発な学校です。主な活動として、親子大縄跳び大会、カレー作り、除草作業、研修講座等が計画されましたが、昨年度に引き続きコロナウイルス感染症の影響を受け、中止となった活動もありました。各活動には運営協議会の委員さんにも参加していただいておりますが、再開された活動はあったもののすべてに参加していただくことができず、残念でした。

来年度は、社会情勢も変化するので、保護者・地域の方が安心して来校できる機会を設け、生徒の学校生活をより理解していただけるよう図っていききたいと思います。



【PTA総会 (R1)】



【PTA大縄跳び大会 (R1)】



【PTAカレー作り (R1)】

(4) 生徒と地域との関わりを深めるための活動

本校は各学年で、「総合的な学習の時間」を通して居住する地域を知るとともに、地域に愛着と誇りを持つことをねらいとした学習を実施しています。

1年生は居住する地域について、「自然環境」、「くらしと防災」、「福祉」、「産業」、「歴史」、「伝統文化」とテーマ別に分かれてのグループ学習や、外部講師を招いての講演会などを行う地域学習があります。今年は、地域学習の施設訪問が縮小されたり、タブレットを使っての調べ学習が多くなりましたが、各種団体の協力を得て実施している「福祉体験教室」は再開できました。

2年生は、地元を中心とする事業所等の協力を得て、「職場体験学習」を予定通り3日間実施できました。各事業所様には本校の体験活動に深いご理解とご協力をいただき、職場での体験学習の再開が叶いました。また、2月に職業に関する学習として外部より講師を招き、対面式で「働くことの意義」についての講話を聴きました。各種団体の協力を得て実施している「地区防災教室」についても再開できました。

3年生は例年、「海蔵川浄化活動」や「若生会との交流」を行っていましたが、残念ながら中止となりました。

また、全校をあげて実施している校区内清掃活動「クリーン大作戦」は、PTA役員や各自治会の協力も得た環境保全学習の一環で、地域へのボランティア活動として根づいているものですが、今年、3年ぶりに再開できました。



【地域学習 (R4)】



【クリーン大作戦 (R4)】



【職場体験学習 (R4)】

(5) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

アンケートでは、学校設備に関する意見を多く頂くこととなりました。「学校の施設の老朽化が目立つため、危険な箇所から早急に修理していただきたい。他校と同等の施設整備を進めてほしい」、「交通事故が多いため、安全指導を強化していくとともに、通学路の危険箇所の改善を図っていくよう働きかけを続けてほしい」、「生徒の頑張りを懸垂幕等で積極的に地域にアピールしていただいて大変良い」、「タブレットを活用した授業が始まっているが、どのように機器を活用しているのか実際に体験してみたい」、等です。これらは、学校生活を送る生徒たちに直接関わるご意見を頂いたと受け止めています。特に、学校の施設面における改善点については、生徒たちの学びに対してよりよい学習環境を整えるべきであるという意見として保護者の方からも多数寄せられており、改善を図る必要があります。設備面については、市教委への要望を継続し、より効果的な運用を目指します。

また、情報端末機（SNS）を介した問題行動に対するご心配もいただきました。これまでも生活アンケートや教育相談を行うことによって、生徒や保護者の思いを受けとめることができるよう努めてまいりましたが、今後も生徒ひとり一人の姿に目を配り、耳を傾けながら相談し、丁寧な指導を継続していきます。



【安全安心教室(R1)】



【防災教室(R4)】



【福祉体験教室(R4)】

保護者の方からの意見等では、「今年も学校に行く機会が減って、十分に様子がわからない」、「学校行事について、保護者の参観を実施することはできなかったのか」といった声を多数いただいております。本年度、市内・県内の新型コロナウイルスの感染状況を受けて、行政から発出される学校における対応の指示が頻繁に変化する中、行事等の実施可否や開催規模、開催内容の判断を非常に複雑なものとしています。保護者や地域関係者の方々に学校での子どもたちの姿を直接見ていただく機会に制限を加えるのは心苦しい思いはありますが、生徒の健康と安全を第一にする本校の方針に、引き続きご理解をお願いしたいと考えております。

学校設備が老朽化する中で、設備の更新や校舎そのものの抜本的な整備についてのご意見は、運営協議会だけでなく毎年のようにたくさんの声を頂いています。現在四日市市では、各学校施設の改修が進められていますが、本校の改修時期については不明です。現存の学校施設を有効に、そして、大切に利活用することができるよう努め、安全面等を最優先しながら、施設や設備の改善を市教委へ上申していきます。

授業の内容を充実してほしいという要望もあり、今後は一人一台貸与されたタブレット機器の有効活用等を進め、時代の変化に沿った形で、授業内容を充実させていきます。

3 今後に向けて

(1) コミュニティスクール（運営協議会）の位置づけの明確化

運営協議会委員だけでなく、教職員・PTA役員・保護者・地域の方々がコミュニティスクールの位置づけや役割を理解し、更なる連携の強化、活動の活性化を進めていきます。そして、学校と地域が協働し、生徒の健全な育成を行っていきます。「山手中学校区で育ってよかった」と思える生徒を育てていきます。

(2) 明らかになった課題の解決に向けて

① 令和4年度の教育活動も、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための取組を行うことが余儀なくされ、数多くの制限や行事・活動の中止・規模縮小による実施となり、これまでの考え方や様式では通用しないこととなりました。年度当初、授業の遅れを取り戻すことも議題にあがりましたが、学校に通う生徒たちの心と体の安定した成長が一番の心配事でした。学校の通常活動再開後の生徒たちの頑張りもあります。保護者や地域の方々、運営協議会委員の方々のご理解とご協力があり、多くの制約の中においても本校の学校教育ビジョンの達成に向けてまい進することができました。

運営協議会委員による評価では、「生徒は、授業をていねいに分かりやすく教えてもらっている」、「生徒は、学校生活を楽しんでいる」、「学校は、いじめ等のない温かい人間関係作りに取り組んでいる」、「生徒は、社会のルールともに、時や場所に応じた言動や挨拶について学んでいる」、の項目において、前年度と変わらない高い評価をいただきました。本校教職員の行動指針にもあるように、引き続き教師自らが挨拶と言葉がけを日々実践し、地域の方々と共に生徒を見守り、より笑顔の溢れる学校づくりを目指していきたいと考えます。

② 山手中学校の周辺には幹線道路が通り、生徒の登下校時の交通量も大変多い状況にあり、加えて学校周辺において登下校時に生徒の人流が集中する箇所もあります。今年度も自転車通学生徒と自動車との接触事故が起きました。また、これまでも小杉地区の交差点や山手通り歩道の通行の仕方等について危険であると地域の方から指摘されています。そこで昨年度から、一斉下校の際に学年別による時差下校を実施しています。懸念されていた交差点での信号待ちによる生徒の密集が以前に比べて解消されることとなり、安全に下校することにつながりました。また、武道場横に下校時の混雑を解消するための専用通路をこの4月に整備予定で、交差点にあふれる生徒の数を減らすことが期待できそうです。四日市北警察署や阿倉川交番など関係機関とも連携をとりながら、学級や学年、地区別・全校集会での安全指導の啓発を進めると同時に、学校便りや学校HPなどでも情報発信を行い、生徒の安全対策を進めていきます。

③ 年々、山手中学校生の携帯電話やスマートフォンの所持率は増加傾向が続き、約90%に近づく勢いです。今年度もSNSをめぐるトラブルが起きており、メディアリテラシー教育の必要性を実感しています。引き続き運営協議会委員や関係団体と協力し、学校通信やHP等を活用しながら、情報端末機の正しい利用について指導を続けていきます。

④ 例年のことながら、運営協議会・保護者・生徒・教職員すべてにおいて、学校評価アンケートの「学校施設・設備の環境整備」については厳しい評価となっています。今年度も教育委員会や運営協議会委員の働きかけにより、長年改修要望を出していた箇所について改修工事を進めていただきましたが、昭和40年代に建てられた古い校舎であるため、傷みが多々あることには変わりありません。今後も市教育委員会に要望するとともに、地域の方々の協力を得ながら対処していきたいと考えています。

4 終わりに

今年度、「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体推進」に係る文部科学大臣表彰を受けました。これは、これまでのCS委員とはじめとする地域関係者や関係団体、PTA等が、学校や生徒への継続した働きかけや取組が評価されたもので、大変うれしく受け止めています。今後も、学校の応援団として、学校づくりビジョンの実現に向けて、持続可能な取組を進めていきたいと考えています。